

わがわが園

第5号

発行

社会福祉法人川崎愛児園
児童養護施設白山愛児園
発行月 令和3年12月

住所

〒215-0014
神奈川県川崎市麻生区
白山1丁目1番5号
TEL:044(712)4071
FAX:044(712)4074
hakusan@aijien.or.jp

法人の基本理念

当法人は命の尊さを大切にし、愛情をもって社会福祉事業を効果的かつ適正に行い、地域社会への貢献に努めます。また、地域社会の中で「将来を担う子どもたちへ」の質の高い養育及び子育て支援を目指します。さらに、事業経営の透明性と健全な経営を目指します。

「命を大切にすること」

「地域の中で養育と子育て支援」

「健全な経営」

施設の基本方針

1. 一人ひとりの心身の成長に努めます
2. 一人ひとりの尊厳を維持し人権を擁護します
3. 一人ひとりの幸福のために支援します
4. 自立した社会生活が営めるように支援します
5. 施設の社会的、専門的役割を果たします

養護目標

社会的養護を必要とする入所児童に対しての基本目標は次の通りです。

- (1) あいさつの正しくできる人に
- (2) 健康な体と心をもてる人に
- (3) 人に好かれ、社会に役立つ人に
- (4) 感謝の気持ちをもてる人に
- (5) 人との調和がとれる人に
- (6) 思いやりのある人に
- (7) 基本的な生活や自立した生活ができる人に

深く感謝申し上げます

前 理事長

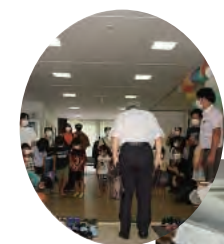


野村 隆

児童養護施設白山愛児園が多くの
人に支えられて確実に、こどもの養
護の使命を果していることを嬉しく
お礼申し上げます。私は、本年六月
社会福祉法人川崎愛児園の理事長を
退任致しました。法人設立の発起人
の末席に参加して、監事、理事をつ
とめて、平成十七年鈴木良雄理事長
の後任に就任し、児童養護施設川崎
愛児園の白戸園長の管理運営に頼
り、白山愛児園の霜倉博文園長の行
動力によりかかって白山愛児園の設
立準備から運営に関ってきました。
社会福祉法人の理事長として高齢で
あることで経営に停滞を生じさせな

いか従来より念頭において、本年の
任期満了をもって退任する意向であ
りましたところ、日頃は命を大切に
することを理念としていながら、自
身の健康への油断から、急性心筋梗
塞で緊急入院し冠動脈手術を終え、
経過観察しております。新型コロナ
禍の中児童養護施設の諸運営が制約
され職員の皆様が御苦労している時
に理事長が職務にあたれない事態と
なり、誠に申し訳ないとお詫び申し
上げます。幸い任期満了まで生きる
ことが出来て、バトンを白戸隆氏に
継ぐことが出来ました。理事長退任
後に白山愛児園、川崎愛児園で両園
とホームの職員とこども達から盛大
な送別の催しを受けて、沢山の言葉
と絵画、写真アルバムを頂きました。
繰返し眺めながら気力を取り戻して
います。在任中に白山愛児園の行事
では運営協議会の皆様をはじめ多く
の支援をいただいている方々と交流
が出来ました。皆様の笑顔を思い浮
かべながら命を大切にしていきます。
白山愛児園の運営については霜倉園
長と職員の能力に全幅の信頼を持っ
ております。また、法人の経営につ

いては新理事長白戸隆氏と役員の知
識能力に一抹の不安もありません。
白山愛児園のこども達が社会に出て
適応して有意義な人生を送れるよう
に議論すること、地域の方々に愛さ
れる施設となることを願っています。
今後も白山愛児園へのご支援をお願
いするとともに皆様のご健康をお祈
り申し上げます。コロナ禍が過ぎて
賑やかに園の行事が催される際には
お目にかかって御礼申し上げますと
思います。永い間のご厚誼に深く感
謝いたします。白山愛児園に携われ
たことを誇りに思っています。



理事長



白戸 隆

ご挨拶

社会福祉法人川崎愛児園が法人格となつてから45周年になります。創始者や鈴木良雄（故）の意思を引き継ぎ野村隆が理事長を務めて参りました。6月で任期満了に伴う退任ということになりましたがこの法人が出来た当初の役員でもあり45年間という長きにわたり重責を担っていただきました。責任感が強く公正・公平の精神やこども・職員を守るという姿勢が一貫しており私たちは安心感のなかで仕事や生活を送ることができたのだと改めて感じております。

のいろいろな方々の参加をもとめることによって価値観を体感し共有し新たな社会貢献、自己実現、世代間交流を通しての循環を図って行けたらと思います。そのためにも地域の方々の福祉課題やこういうことが実現されたらいいなあ等の要望や意見を伺い、事業やサービスを開発し取り組み展開することでまちづくり、コミュニティづくりに貢献したいと考えております。

霜倉施設長をはじめ職員一同がこのことを理解し施設運営に参加しております。ひき続きみな様のご理解とご協力をお願いするとともに、ご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。また遠慮なくご意見ご要望をお聞かせいただき少しでも前進できるよう努力したいと考えております。

このような状況下であります、みな様どうぞご自愛いただき、制約のある生活ではございますが、充実した日々をお過ごしいただければと願っております。

施設長



霜倉 博文

今年度六月に退任された野村隆前理事長が、七月二十四日に白山愛児園の子どもたち、職員へ退任の挨拶のために来園してくださいました。この日も温厚な人柄が溢れ出るメッセージをいただきました。野村前理事長が最も大切にしていた「命を大切にする心」の理念を受け継いで、子どもたちと共に成長していきたいと思ひます。

今年度も園内外の行事、イベントがほとんど中止となり、子ども、職員ともに行動が制限される中、皆ができることを一生懸命に頑張っています。園庭で子どもたちが職員と夢中になって遊んでいる声を聞くのが日々の楽しみとなっています。こうした状況で、広報誌「わかば」に原稿を寄稿してくださいました皆様に感謝申し上げます。おかげさまで今年度も発行することができ、嬉しく思ひます。

併設しているはくさん児童家庭支援

センターが利用相談を受けている「子育て短期利用事業」（ショートステイ、デイスティ）の利用中止や制限等でも利用者の方にはご迷惑をお掛けし、申し訳ありません。また、地域交流スペースの利用制限と合わせて、この場を借りてお詫び申し上げます。

さて、今年度は、昨年度から準備を進めてきた二つのプロジェクトが実施されています。一つは、地域小規模児童養護施設「紬」の開設です。白山愛児園では、平成二十九年に開設した「結」に続き二つ目のホームです。子ども五名、職員四名での新しい生活が始まりました。子どもと職員が良好な関係性を築き、子どもたちが安心して生活できる環境作りに努め、地域に根差した運営を目指します。

もう一つは、卒園生のアフターケアの強化です。アフターケア実施要綱に基づき、状況把握シートを作成し、卒園生個々のアフターケア計画を策定しました。園を巣立っていった子どもたちに、担当職員が必要な支援計画を立てて実践しています。

子どもたちは共に育ちあい、たくさ

んの大人に見守られて成長してきています。まだまだ失敗もありますが、その経験を糧にして大きく成長してほしいと願っています。地域の方々ははじめご支援してくださる皆様には、今後ともなお一層のご協力をお願いいたします。

ユニット主任



角田 裕樹

「子どもからもらった様々な気づき」
私は小学生の頃から子どもと関わり、子どもと向き合うことができる仕事に就きたいと思っていました。中学・高校・大学を経て、どんなときでも子どもと笑って暮らせる生活を目指し、児童養護施設の職に就こうと決めました。

入職当初、白山愛児園の姉妹園である川崎愛児園で様々なフロア（男子児童・女子児童・幼児・地域小規模児童養護施設）を経験しました。その中で、子どもと同じ時間を共に過ごすこと、一緒に遊ぶことが私の目指す「どんな

ときでも子どもと笑って暮らせる生活」に近づくのではないかと考えるようになりました。

入職2年目、白山愛児園に異動となり同期と一緒に1つのユニットを任されることになりました。中高生と生活を共にするユニットに配属となり、子どもと年も近い言い争いをする等、様々な場面でぎくしゃくしてしまうこともありましたが、楽しいことを一緒に共有すること、ぶつかってでもしっかりと子どもと向き合うことを優先して行ったことで、お互いの人間性を知り、ユニット内がまとまっていききました。

入職5年目になり、ユニット異動を経験しました。今までは中高生ばかりのユニットでしたが、幼児や小学校低学年が多いユニットに配属となりました。

日々関わっていくなかで、子どもに指示や指導が増えてしまっている自分に気が付きました。そんな時は、子どもの目線に立ち、子ども自身が気付けるように促すことが大切であると学びました。また、職員が率先

して、心から楽しむことで子どもも自然と楽しんでくれることに気が付きました。

最近では、ユニット主任という2つのユニットを任される立場となりました。これまでは、どんなときでも子どもと笑って暮らせる生活、を私自身が作り上げていくことが目標でした。しかし現在では、担当の職員へ、私の思い描いている理想や想いを伝えること、どんなときでも子どもと笑って暮らせる生活、をチーム全体で作っていったらいいかと考えています。今後もしっかりなことに気づき、様々な発見をし、いきたいです。



ユニット主任



松下 ほなみ

「今日は二千人か・・・」

新型コロナウイルスが猛威を振るっている中で、こどもたちが安心して生活が続けられるように、外出や保護者との面会の中止等、様々な制限をかけるを得ない状況が続いています。

本来であれば、夏休みには地域でのお祭り、白山愛児園みんなで行くキャンプ、ユニットごとの外出など楽しい行事がたくさんあります。それらができなくなつて一年半が経ち、こどもたちからも当たり前のように「コロナだから仕方がない」「しょうがないよね」といった声があがるようになりました。このような状況では確かに仕方ないこともかもしれません。ですが、様々な過去・背景があつて入所しているこどもたちに今何かできることはないか、そんな思いから昨年末に園内での餅つき大会を開催しました。開催にあたっては、地域の方々に餅の蒸し方からつき方まで丁寧に指導いただき、こどもや職員含めて楽しめるイベント

になりました。私自身も地域の
方々との交流が久しぶりだったこ
ともあり、こどもたちと一緒に楽
しい時間を過ごすことができました。

イベントがなくなるだけでなく

く、以前の生活ではしなくていい
ような我慢をこどもたちはしなけ
ればいけなくなりました。その結
果として生活の中でのトラブルが
増えたこともありましたが、こど
もたちはこどもたちなりに考え、
工夫をする場面も同じように多く
なりました。日々少しずつではあ
りますが、苦手だったことに取り
組んだり、「私のせいじゃない」「ど
うせ私が悪いんですよ」等、自分
の気持ちを押し付けるだけではなく、
相手の気持ちも聞きながら譲
り合いの気持ちを表現できるよう
になったりと成長している様子が
感じられるようになりました。

我慢が必要なのはこどもたちだ
けではなく、私を含めた職員も同
じことが言えるかと思えます。新
しい生活様式に慣れることは大変
ではありますが、そのようなこど

もの姿を見るとそんなことは言っ
てられない、こどもたちが少しでも
楽しく充実した毎日を送ることがで
きるように私も私なりに今できるこ
とをしなくてはいけない。そう思っ
ようになりました。

私はこの仕事を始めて八年目に
なります。そんな私が今だからこそ
でできることは何か、それを考えた時
に浮かんだことは、自分自身が施設
職員として、また一人の人間として
学び、目にしてきたことを心に留め
ながら「話を聴き、伝えていく」「支
え合っていく」ことだと思えます。

言葉にするのは簡単ですが、これが
また難しい。私自身も人の話を十分
に聴く余裕などないくらい辛くなる
時もあります。時には泣いてしまっ
てもあります。時にも多くあります。
ですが、そういった中でもこどもた
ちやその生活を支えている職員との
やり取りは積み重なっていきます。

この積み重ねが、何かと変化が求め
られる今の生活の中でも変わらずに
残していけるものだと思っています。

この仕事に正解はありませんが、
私は「話を聴き、伝えていく」「支え

合っていく」ことを大切にしながら、
こどもたち、一緒に働く仲間と共に
今の状況を乗り切っていきたいと思
います。



アカシア街区住民

関野 邦章 様

私が白山愛児園を知ったのは、「新
ゆりグリーンタウン連絡協議会」の下
部組織として活動している「白山ま
ちづくり協議会」への参加でした。
川崎市では北部に児童養護施設が無
いと言うことで住民と共に色々な問
題を整理し開設に至りました。実は
この施設が出来るだいぶ前に、私の
妻から数人の里親をしてる方がいる
事を聞いていました。とても私には
出来る事では無いと「敬服」してい
ました。その方の苗字が珍しく頭に
残っていました。「シモクラ」そっ
す白山愛児園の霜倉施設長さん本人
でした。白山納涼祭で妻と一緒にた
ち話をした事が数年前になりました。
グリーンタウンのヘソ「むじなが
池」で夕方近く子ども達が魚釣りを
楽しんでいました。私は東屋から「何
か釣れた？」と声をかけたらA君が
「くちぼぞ、ブルーギル！」と魚に詳
しいらしく、私も釣好きなので色々
話をしました。日も暮れてきたので
「A君はどここの街区に住んでいる

の？」と聞いたら「愛児園！」と屈託の無い笑顔で答えてくれました。暗くなって来たので「また今度」と言い帰宅。それから何度かむじなが池で釣りの話をしました。数年前に愛児園のクリスマス会に招待された時、ルアー1個ポケットに入れていました。今年むじなが池の全街区合同清掃にも参加してくれました。初めて会った時と比べて仲間達に声を掛けてる姿が逞しく見えました。

また恒例となった「たけのこ掘り」は白山南緑地管理運営協議会総称AGS47が愛児園開設の翌年に誕生し、荒れ放題の竹林が子ども達に遊びに来てもらえる程度まで整理でき、5年程前から立山会長はじめ会員全員で招待し子ども達との交流を楽しみにしています。ある年200本を超える筍を収穫した時、「二人一人なんか選んで持って帰って下さい」と言ったらB子さんが自分の身長より大きな筍を持った時、周りの大人達は小さい方が美味しいといっても、大きいコトはイイことなんだと持ち帰る姿に苦笑した事を覚えています。これからおなじ白山の住民としてお付き合い下さい。個人で出来る事

程度のコトでも、小さい集まりでも共有出来るコトを、楽しみにしています。

色紙

「AGSのお宝です。」



園内もちつき大会にて



「にこりん」代表

村上 美穂子 様

ハンディを持つ子どもとその親のためのフリースペース 「にこりん」

「にこりん」は、ハンディキャップを持つ子どもとその親のためのサークルです。

「ハンディキャップを持った子どもたちやお母さん同士が出会い、話ができる場所が欲しい。」という願いから2003年にはじまりました。現在、会員数は約40組です。

普段はLINEグループ等で情報交換をし、月に1度、白山愛児園さんの「地域交流スペース」をお借りして、親子のためのフリースペースを開いています。

フリースペースでは、子どもを見守るボランティアの方にも来ていただき、子どもを遊ばせながら、お母さんたちがつかの間のおしゃべりを楽しんだり、情報交換をしたりしています。子どもは就園、就学したという方もお見えになり、幅広い年代が交流しています。

サークル設立当初は、こども文化センターを拠点に活動していましたが、いろいろと状況が変わり、集まる場

所の確保に、長い期間、苦心していました。

障がいのある子が集まるという特性上、バリアフリーであること、近隣に駐車場があること、公共交通機関でもアクセスしやすいところ、という場所をなかなか見つけることができず、個人宅のスペースをお借りしたりして活動していました。

この窮状を、区の子ども関連の会議で訴えたところ、白山愛児園さんからお声がけをいただき、2018年から「地域交流スペース」を利用させていただけることになりました。

このようなスペースで集まりを持てるようになったことで、初めて来る方にも安心感をもって来ていただけるようになり、職員の皆様にもいつも暖かく見守っていただき、本当に感謝しております。

障がいのある子どもを育てることは大変なことたくさんあり、他のお母さんたちと「うちもそうだよ！」と話せる「場」があることは、とても貴重です。これからも細く長く、皆さんの力を借りながら、このような「場」を作っていければ、と思っています。

ごあいさつ



高野穂乃花

私は中学生の頃から「将来はこどもと関わる仕事したい」と何となく思っていました。高校生の時にファミリーホームで暮らすこどもたちの生活を綴った本を読み、その本がきっかけで児童福祉の分野に進むことを決めました。大学で福祉や保育について勉強し、日々の生活の中でこどもの成長を身近で見られるというこの仕事の魅力や、社会的養護の必要性を学びました。さらに、社会的養護において家庭的な生活や地域とのつながりを通じた養護が重要であると強く感じ、様々な施設を調べる中で白山愛児園ではそれが実現できるのではないかと思い、私もここで働きたいと思いました。

実際に働いてみて、自分の未熟さを日々痛感しています。特にこどもとの関わり方については、こどもやその時の状況によって上手く思いが伝わらないことや、こどもとぶつかってしまうことがあります。先輩職員の対応や声の掛け方を自分も実践してみたり、アドバイスを参考にしたりしながら試行錯誤しています。それでもなかなか上手くいかないと感じることも多く、こども一人ひとりの関係形成や関わり方について戸惑うことが多くあります。明確な正解がないからこそ、たくさん悩み、自分なりの関わり方を見つけていきたいです。

また、こどもたちを見ていつも素敵だなと思うのは、人に何かをしてもらった時に自然に「ありがとう」と伝えられるところです。こどもたちがそれを当たり前のようにできているのは、これまでの先輩職員が感謝の気持ちを持つことや、それを伝えることの大切さを丁寧にこどもたちに伝えてきたからではないかと感じました。これから私も感謝の気持ちの大切さを伝えていける職員になりたいです。

塚田遥香

私は大学でこどもの心身の発達や虐待の問題、児童虐待の現状などこどもに関することを学んできました。大学の講義を通して、こどもたちに対して私でも

何か力になれることはないかと考え、養護施設でボランティアを始めたことがきっかけで、児童養護施設で働くことを志望するようになりました。川崎愛児園では、児童養護施設の事業はもちろんですが、子育て短期利用や、児童家庭支援センターなど様々な事業に力を入れているところ、また地域との交流が根強く園内だけでなく、地域全体でこどもたちを養育・支援しているところなどに魅力を感じ、私も川崎愛児園に入職しこどものために働きたいと思うようになりました。

初めは不安ばかりでしたが、実際に働いてみて、白山愛児園では先輩職員が悩みや問題などを聞いてくれ、相談に乗ってくれる機会が多く、困っていることを一緒に解決してくれるため、心のモヤモヤがない状態で働くことができています。こどもとの関わり方や支援方法など迷うこともたくさんありますが、先輩職員をみて学び、またアドバイスを参考に『自分にできることは何なのか』、『理想とする職員像に近づくにはどうしたらいいのか』など、日々試行錯誤しながら過ごしています。普段の生活では、具体的な支援方法や食育について、日常生活のルーティンなど、毎日が勉強の日々です。まだまだ分からないことが多く、私からこどもたちに質問することもあります。「これはこっだよ」と教えてくれるこどもの存在はとても頼もしく感じます。こどもの好き嫌いや得意不得意など毎日新しい発見ができるように、またこどものお手本となるように、頑張りたいです。

土屋里恵

私はニュースで目にする児童虐待について、「力になりたい。こどもたちを救ってあげたい。」と、ただ漠然と考えていました。しかし児童養護施設をその当時の自分は知らず、教員という立場からこどもたちの教育に携わることを目指していました。

大学で児童養護施設について講義を受けたことをきっかけとして、自分が今まで漠然と考えていたこどもたちへの想いを果たすことができる「児童指導員」

という職業に出会いました。教員よりもこども一人ひとりと距離感が近く、より深い支援を行なうことができることもこの職業を選択した理由の一つです。

白山愛児園は、食事をユニット職員が一から作る一般家庭を意識した部分や、各ユニットでこども会議を行い、ルールをこどもたち主体でつくっていく部分が特徴的だと思います。こどもたちへの制限を少なくし、意見を尊重している姿勢に心打たれ、入社を決意しました。

実際に働き始め、心理学や児童福祉の専門知識を持つていない自分にとって毎日が学びの日々です。悩みごと・分からないことがあっても、ユニット職員を中心とした先輩職員が丁寧に教えてくれます。さらには毎日の振り返り、チャーター面談制度もあるため相談しやすく、働く意欲が高まる環境が整っています。専門的な知識が少ないからといって消極的になるのではなく、こどもとの関わり方などは自分が経験してきた教育実習や介護等体験の実習での学びが生かされる機会も多くあります。自分だけが持っている経験を通して伝えられることをこどもたちへの支援へ生かしていきたいです。

謙虚な姿勢を忘れず、専門職含め先輩職員と一緒にこどもたちの明るい未来に向けて一生懸命努めていきます。

岩田葉奈

私は大学生の頃、白山愛児園で施設実習を経験しました。その際、園の雰囲気や職員の仲の良さ、子どもたちと職員の関係性等に惹かれ、白山愛児園で働きたいと思いました。

実際に働いてみて、子どもたちの生活をサポートすることの大変さを知りました。朝起きてご飯を食べて、登校して…等、自分が不自由なく生活を送ることができたのは、サポートしてくれる人がいてくれたからなのだと改めて深く考えるようになりました。同時に、

新任職員の



子どもたちにも同じように不自由のない生活を楽しく送ってほしいと強く考えるようになりました。まだ入職してから間もない為、毎日のルーティーンに慣れるところから始まり、毎日バタバタしてしまいますが、子どもたちに「いつてらっしゃい」と声を掛けるときや、自分の作ったご飯を、子どもたちが「美味しい」と言ってくれた時に、今はやりがいを感じます。さらに、子どもたちの元気の良さに驚かされることも多く、入職してすぐの頃は、子どもたちと身体を動かして遊ぶだけで筋肉痛になることもありました。毎日園庭等で鬼ごっこやリレーをして身体を動かしているおかげで、自分自身の体力も減らずに健康でいることが出来そうに嬉しです。また、遊びを通して沢山の子どもたちとコミュニケーションがとれるため、『遊び』の大切さにも気づくことが出来ました。また、子どもたちが挑戦している姿を近くで見ることが出来るため、子どもたちの頑張りたい気持ちを無駄にしないよう、サポートしたいとも思うようになりました。

まだまだ子どもたちとの関係性ができていない分、大変に思うことは多くありますが、今後より良い関係性を築き子どもたちの生活の手厚いサポートが出来る職員になれるよう、日々努力していきたいです。

新井美羽

私は物心ついた頃から保育士になりたいと思っていました。そして、自分の母園である幼稚園で先生になる為に、保育士資格を取得することが出来る専門学校に通いました。しかし、専門学校で学ぶ中で、保育士は保育園や幼稚園以外にも活躍することが出来る場があることや施設保育士という存在を知りました。より子どもたちの近くで、時間をかけて子どもたちの成長に携わることが出来ること、子どもと一緒に成長できること、これが児童養護施設の魅力だと思っています。白山愛児園では、家庭的な雰囲気大切に、真剣に子どもたちと向き合っている職員が多いと感じま

した。私もそんな職員や子どもたちと一緒に生活しながら、保育士として成長していきたいと思い、白山愛児園で働きたいと考えました。

実際に働いてみて、数か月。すべての体験が私にとって学びでした。声掛け一つでも、その子の性格やその時の心の状態を考えて言葉選びをしている先輩職員の姿を見て、新たな視点を発見したりと日々刺激を受けると同時に、自分の未熟さを痛感します。しかし、ユニットに入ると明るく迎えてくれる子どもたちの笑顔に元気をもらって毎日楽しく出勤することができています。自分も職員の1人として、子どもたちの成長を支えられる様、保育士としての意義や役割を見つけ、自分なりの子どもたちとの関わり方を見つけていければいいなと思います。

まだまだ分からないことや初めてのことがばかりで、毎日今できることを行うのに必死ですが、子どもたちと一緒に時間を過ごす中で、子どもが安心して頼ることが出来る保育士を目指していきたいと考えています。

鳥居あつき

私が白山愛児園で働きたいと思った理由は、白山愛児園へ見学に行った際の皆の楽しそうな雰囲気や、職員の仲の良い雰囲気がいいたと思っただけです。また、私は食えることが好きなのでキッチンで料理をして温かいご飯がすぐに食べられることに魅力を感じました。まだまだ理由はありますが、書ききれないのでこの2つをあげたいと思います。

白山愛児園で働いてみて、大変なこともあります。それ以上に、皆でご飯を食べたり、いっぱい遊んだり、お話ししたりする時間がとても楽しいです。先輩職員方も困った時には相談のつてくれたり、親身になって話を聞いてくれたりと、感謝しています。これからも遊んだり、お話ししたり、色々な時間を過ごすことが楽しみです。これからよろしくお願いします。

佐藤汰輔

僕がこの仕事に就きたいと思ったきっかけは、この仕事に就くまでやっていた学童でのアルバイトでした。大学では児童福祉とは全く関係のない学部で、福祉系の勉強や仕事などは興味がありませんでした。

部活を引退後、学童のアルバイトを始め、小学生と関わる時間ができました。小学生の子どもたちと遊び、面倒を見る時間は僕にとって、とても楽しい時間でした。それとともに、遊び以外のことも子どもたちと携わりたと思うようになりました。その理由は、学童に来ていた子どもたちの家庭状況を知った時、何とかしてあげたいと思ったからです。しかし、僕はただのアルバイトという立場だったので直接的に何かをするということができず、割り切るしかありませんでした。そこで、子どもたちに直接的に携われる仕事はないかと考え、探していた時に白山愛児園と出会いました。

実際に働いて数か月が経ち、やはり色々な面で「難しいな・・・。」と感じることが多くあります。僕は福祉の勉強をしてきたわけでもないし、資格を持っていないわけでもありません。ゼロからのスタートではありますが、先輩にフォローしてもらいながら楽しく働くことができています。また、初めは子どもたちには気難しい子がたくさんいるのではないかと、少なからず偏見がありました。しかし実際は人懐っこく優しい子どもたちで、子どもたちにも助けてもらいながら楽しく過ごせています。

僕は、職員から子どもから、慕われて「佐藤さん」といわれるの楽しいと思われたい職員になりたいと思っています。また、子どもたちと共に成長していけるような職員になりたいです。

園での生活



高校生1名、中学生1名、小学生3名、幼児（年長）1名の計6名、男の子のユニットです。毎日お手伝いを率先して行い、人の気持ちが考えられる子どもたちです。晴天時には外でサッカーやフリスビー、虫探しなどをして活発に遊んでいます。雨天時にはトランプやUNO、ぬり絵などのんびりと過ごしています。他者との違いを認め合える関係性を築き、自分のことも相手のことも尊重できる人に職員も子どももなれるように頑張ります。

小学生4名、高校生1名の計5名の男児が生活しています。ゲーム大会を開催することもあれば、ソファに座ってのんびりテレビを観る日もあります。年齢差はありますが、みんな仲良く過ごしています。こどもたちは職員の手伝いをたくさんしてくれます。職員と一緒に家事や身の回りのことを練習している最中です。互いの良いところを見つけ合い、尊重し合えるユニットを目指しています。



4歳から中学1年生までの4人の女の子のお部屋です。年齢の幅が広く、年上のお姉さんは年下の子のお世話をしてくれたり、困っている子がいると優しく声を掛け合っている温かい雰囲気のあるユニットです。些細なことで喧嘩になってしまうことも多くありますが、お互いを認め合い、助け合える関係を日々職員と共に考えながら生活しています。自分も相手も大切にできるように温かいユニットを目指しています。



小学校3年生から小学校5年生の3名と高校1年生の計4名が生活している、女の子のお部屋です。お洒落を楽しんだりお菓子作りを行ったりと女の子らしい一面もあり、遊ぶ時は男の子に負けないくらい全力で遊ぶ元気な子どもたちです。時には、喧嘩をすることもありますが、すぐに仲直りし誰かが落ち込んでいると、誰かが自然と励まし一人一人が優しく元気いっぱい、笑い声の絶えないユニットです。自分自身を大切にすると共に、他人や物を大切にし、感謝・助け合いの気持ちを持ち、協力しながら生活をし、何事にもチャレンジし、諦めない心を子どもたちと一緒に育んでいきたいと思っています。



白山愛児

年長さん、小学1年生、3年生、6年生、中学3年生の計5名の女の子がいるお部屋です。お手伝いを率先して行ってくれたり、困っている子がいたら優しく声を掛けることのできる子どもたちです。料理をしたり絵を描いたり、お外でたくさん遊んで過ごしています。最後まで諦めずに取り組む事のすばらしさを知ることができるよう、これから様々なことに一緒に挑戦していきたいと思っています。



王禅寺東地域にある一軒家をお借りして、年長から中学生の女の子3人、小学生と高校生の女の子3人と、一匹のワンちゃんが暮らしています。「犬を飼いたい！」という子ども達の希望から、今年の1月、ワンちゃんから、今年の1月、ワンちゃんが結ホームの仲間に加まりました。また、4月には本園から小学生2人が結ホームに引っ越してきました。一緒に生活を始めて、お互いに今まで知らなかった一面を知り、戸惑うこともありながら仲を深めています。地域の方々からあたたかく見守られ、伸び伸びと育っています。



今年の4月に2つ目の地域小規模児童養護施設として開所しました。
生活し慣れた白山愛児園から引っ越し、新しい環境での生活が始まりましたが、結ホームの特徴である大きな家、広い庭でBBQやスイカ割り、花火などをして楽しくのびのび過ごしています。月に2回ほど公園掃除があり、職員はもちろん、こどもも参加し、近所の方と交流する場となっています。

ご家庭の理由により2歳から小学6年生までのお子さんを短期間お預かりするユニットです。日中にお預かりするデイスティ、宿泊を伴いお預かりするショートステイを実施しています。様々なお子さんが利用する為、多種類の遊び道具や創作活動の材料の準備、工夫した食事の提供等、お子さんが安全に安心して過ごせる環境を整えています。また、利用されるお子さんと保護者の方の状況やニーズを知り、不安な気持ちを少しでも解消して利用していただけるよう日々努めています。



行事

白山愛児園まつり

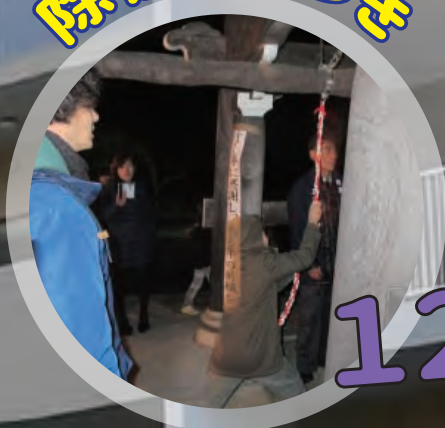
10月



除夜の鐘つき

クリスマス会

12月



12月

そば打ち

1月

卒業と進級を祝う会



節分 豆まき

2月



3月

白山愛児園の

お花見 バーベキュー

4月



KOI のぼり旗

5月



七夕 流しそうめん

7月



夏期キャンプ

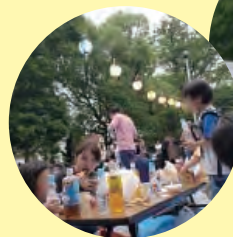
7月



地域の行事



白山
納涼祭



アカシア
夏祭り



アカシア自治会のみなさんにご招待いただいています

ヨーヨーつりを
出店しています

真福寺盆踊り大会



けやき街区
焼き芋大会



AGS47のみなさんから
やさしく教えていただきます



田園調布学園大学
学園祭



グリーンプラザ商店会の
みなさんにご招待
いただいています



彩流祭（ラスール祭り）



グリーンプラザ
夜市



さつき街区
おもちつき



たけのこ堀に

グリーン
フットボール
大会

ご寄付・ご招待・ボランティア ご芳名帳（順不同）

- 齊藤美紀様
- 加藤英津子様
- 井口幸洋様
- 笠原浩司様
- 前田晴美様
- 三浦朝香様
- 田上直子様
- 富士本実様
- 齋藤弘昭様
- 水野辰朗様
- 尾野村ひろみ様
- 柳井洋子様
- 阪上由美子様
- 奥山玲子様
- 浅見永理子様
- 飯田和子様
- 門平きょう子様
- 富田いく子様
- 成田末里様
- 中田寿子様
- 関野邦章様
- 村山健一郎様
- 横田耕治様
- 宮沢尚子様
- 大森ちづ子様
- 石井淳史様
- 和田英明様
- 西野亮廣様
- 宮井なつ美様
- 會田信弘様
- 川本勝様
- 松澤寛美様
- 木村美弥子様
- 樋口誠様
- 横田耕治様
- 園部正樹様
- 白山まちづくり協議会 会長 太田大二様
- ポプラ自治会 会長 木下正幸様
- さつき第二自治会 会長 松岡祐治様
- けやき自治会 会長 吉元進様
- アカシア自治会 会長 中山忠様
- さつき第一管理組合 事務局長 鈴木肇様
- Acasia Green Support47 会長 立山信幸様
- あかもと本舗 上石満様
- 一般社団法人初代タイガーマスク後援会様
- プロレスリング・ヒートアップ株式会社
- 代表 田村和宏様
- 合同会社 takuson 様
- 株式会社ハンズ 様
- ムーンバット株式会社 様
- 明治安田生命保険相互会社東京第一マーケット開発部
- 東京第一マーケット統括室東京第四マーケット開発室
- 室長 吉永愛様
- Yai Yai 代表 吉田真弓 様
- 株式会社ベルン 様
- 株式会社たかくら新産業
- 代表取締役社長 高倉健 様
- 株式会社クラオンライン
- 代表取締役社長 家本 賢太郎 様
- 一般社団法人みらいこども財団
- 代表理事 谷山昌栄 様
- 株式会社フレールベル館 出版本部 様
- 日本コカ・コーラ株式会社 守山工場
- ゼネラルマネージャー／工場長 梶原隆雄 様
- 高石地域包括支援センター 様
- 一般社団法人日本アイスクリーム協会 様
- 柿生地区社会福祉協議会 会長 久保倉清 様
- 公益財団法人日本漢字能力検定協会 様
- 王禪寺中央小学校 様
- 王禪寺中央中学校 様
- 日本航空株式会社 東京空港支店 総務部 様
- 川崎市 福田紀彦 様
- 川崎市社会福祉協議会 会長 佐藤忠次 様
- ショップあさお 様
- 川崎労働者福祉協議会 様
- 屋久島東部茶生産組合 代表 藤山武彦 様
- 株式会社ヴァーチュアス・サークル 様
- 宇賀梨園 代表 宇賀貴之 様
- 一般社団法人神奈川県養豚協会 理事長 山口 昌興 様
- 佐川急便株式会社 東京本社 CSR推進部
- リスクマネジメント課 田部泰弘 様
- 株式会社アマナ 代表取締役社長兼 CEO 進藤 博信 様
- 濃飛倉庫運輸株式会社 様
- アンティーク彦根 様
- 株式会社ファンケル 様
- インターコスメ株式会社 様
- 神奈川県民共済生活協同組合 様
- 株式会社 PHOS 様
- 全国シヤンメリー協同組合 様
- 木下大サーカス 様
- 日本鏡餅組合 理事長 樋口元剛 様
- ほっともつと 様
- 中央ろうきん友の会 新百合ヶ丘支部 様
- 日本出版販売株式会社 代表取締役社長 奥村 景二 様
- 公益財団法人報知社会福祉事業団 様
- 毎日新聞東京社会事業団 様
- バルーンメッセンジャー株式会社 代表取締役 長澤義浩 様
- 神奈川トヨタ自動車株式会社 様
- ブラックストーングループ・ジャパン 様
- マンダリン・オリエンタル 様
- 株式会社カレンズ 様
- 株式会社 SJ Creations 様
- ありさんプロ株式会社 様
- 学校法人実践学園 理事長／学園長 内藤彰信 様
- 神奈川県みんなの感謝お届け事業事務局 様
- 三菱ふそうトラック・バス株式会社
- セールスマーケティング本部 様

※令和2年4月～令和3年3月末日まで記載しております。

以降は次号にてご報告させていただきます。

この他、匿名でも多くのご寄付を頂戴いたしました。
日頃よりご支援・ご協力いただきまして誠にありがとうございます。
これからも皆さまのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

～卒園生の言葉～

2021年卒園 女子児童

小学校6年生になる数日前、私は白山愛児園に入所した。

入所当初は白山愛児園が開所して間もないこともあって、こどもがとてもしなかった。だから、学校が始まる前は本当に暇で暇で仕方がなかった。新学期を待つ間は、園のバスケットコートや園庭で遊んだり、職員さんとトランプをしたり、買い物に行ったりして過ごしていた。初めは中高生のお兄さんたちがなんとなく怖くて、職員さんの後ろに隠れていたけれど、一緒に遊ぶようになって怖くなくなっていた。徐々に小さい子も入ってきた。幼稚園くらいの小さいこどもたちがとても可愛くて、よく面倒を見ていた。

当時は振り返ると、白山愛児園に来て初めてのお昼ご飯を思い出す。角ちゃん（職員）のホットサンド。とても美味しかった。

■301ユニット（女子ユニット）

保護所の頃から知り合いで、わたしより少し後に白山愛児園に来たMも同じユニットになった。ユニットでデイズニールランドに行ったときは、Mとおそろいでデイズとミニーのカチューシャを買って着けるくらい仲が良かった。Mとは小学校4年生くらいから一緒だったから幼馴染のような感覚で、今でもとても大切な存在だ。

開所からしばらくして、だんだんとユニットに年上の子が増えていった。人が増えると、当然騒がしくなりトラブルも起きる。時には隣のユニットのKちゃんから「すごい音がするけど大丈夫？」と心配されるくらい、騒がしい日もあった。いろんな子がいていろんな感じ方がある。女の子はいざこざが多いものだ。

中学生の頃、もっちー（職員）と次の日に早起きする約束をして白山の周りの道を歩いた。その時に、初めてキンモクセイの香りを覚えた。帰りにコンビニのタピオカジュースや豆乳紅茶を買って飲んだ。大好きなもっちーと一緒に歩く時間が好きだった。

数か月間、ショートステイのこどもたちと一緒に過ごしたこともあった。とても楽しかったのを覚えてい

る。その頃はスイミングに通っていた。泳ぐのは好きだし楽しいのはわかっていたけれど、距離が遠くなったから行くのが面倒で、よく職員さんと喧嘩をした。そんなことも、今ではいい思い出だ。

■結ホーム

結ホームに引っ越して、新しい家に帰ることが楽しみだった。何よりも一人部屋が嬉しかった。白山愛児園でも一人部屋だったけど、パーテーションで仕切られていない完全な個室が嬉しくて、部屋の模様替えも時々していた。ホームは部屋も広くて、模様替えをすると部屋の雰囲気ガラッと変わる。新しい物が好きなのもあるからか、そうするだけで気分が上がった。

ある日、ホームにまだ小さい男の子のTがやって来た。来たばかりの頃はまだあまり喋れなくて、ご飯を食べ終わった後に「ばなな」と、覚えてた言葉でバナナが食べたいことを話していて、それがとても可愛かった。食いしん坊なところ、一口食べては口を拭くところ、1つ1つが可愛いと思った。最初は警戒していたのか避けられていたけれど、今は慕ってくれている。

結では色々なところに出掛けた。中学夏休みの課題のために行った岡本太郎美術館。ジャニーズのブロマイドを買うために、原宿にも行った。デイズニールランド、USJ、スキーにも行った。デイズニールランドの行きバスに間に合わなくなりそうだったこと、スキー旅行の夜に皆で人狼ゲームをしたこと、2日目はお腹を壊して滑ることができなかったけれど、体調が落ち着いて帰るために車の前の雪かきをしたこと。全部が懐かしい。

誕生日の外出でFと富士急ハイランドにも行った。予定が合わなくて中々行けず、行けた頃には誕生日から3か月も経っていた。一緒に行った職員さんは絶叫系のアトラクションが苦手と一緒に乗れなかったけれど、その分たくさん写真を撮ってくれた。

キャンプにもたくさん行った。その中でも、高校3年生の秋に行ったキャンプが一番楽しかった気がする。

はばたくわかば

バーベキューをしたり、川辺で遊んだり、シャボン玉をしたり。夜はわたしが不機嫌になってしまつて「テントで寝る。」と言つた。そしたら、もつちーも「わたしもテントで寝るよ。」と言つてくれたのが嬉しかった。夜のテントは寒くて、防寒着を着込んで毛布を巻いて寝た。日の出の時間を調べて「明日、日の出を観よう。」ともつちーと話していたけれど、起きたらもうすでに少し明るくなつていた。起きた後は、散歩をしたり、お湯を沸かしてコーヒーを飲んだり、とゆつたり過ごした。わたしはやっぱ自然の中で散歩をするのが好きだ。

高校2・3年生の選択授業で食品栄養の授業を取つていた。料理の基礎知識を得る良い機会だ。わたしは小学校6年生からパティシエになりたいという夢があった。高校2年生の時にブルガリのチョココレート工場のインターンや、ケーキ屋リリエンベルグの職場体験に行った。どちらも楽しかったけれど、仕事にしているかは分らないと思つた。わたし自身、飽き性で大雑把なところがあるからだ。ケーキ作りやお菓子づくりは、丁寧さや分量の正確さ等を求められる。自分の好きなことを仕事としてできることは素敵だなとも思つたけれど、大変なことももちろんたくさんある。大好きなお菓子作りを嫌いになつてしまつたら嫌だと思つた。趣味として仲の良い人に作つてあげる、それくらいの距離感で向き合いたいと思つた。

そんなときに、愛美さん(職員)に紹介してもらつて、今の職場・仕事に出会えた。わたしの仕事は老人ホームの調理補助で、主に盛り付けや仕込みを中心に行つている。わたしは食べることが好きだ。(好き嫌いは多いし、いまだに食べられないものもあるけれど...)作っているところを見ることも好き。それぞれの職員さんが作ってくれた中で、わたしの好きなメニューを覚えている。

あつすーはカオマンガイ。ゆかりちゃんはタコライス。あかりんは唐揚げ。ひろしは酢豚。たまちゃんは煮物。もつちーは煮魚...いや、全部！

結や白山愛児園に帰つた時にはリクエストして作つてもらう。

今は職場の寮で一人暮らしをしている。苦手な虫が何度か出て大変だったけれど、最近虫はいなくなつた。落ち込むときは、今でもあの頃のように部屋の模様替えをしながら気分を上げている。

自炊もちょこちょやってる。トマト系の味付けが好きで、どうしても手作りで食べたいときには、ミートパスタやオムライスを作ることもある。朝から唐揚げを作つて、仕事にお弁当として持つて行つたことだってある。我ながらすごい。

今の励みは、結ホームを出るときにもらったアルバム。年下の子たちの写真や、結ホームで飼っている犬の写真を見ると癒される。コロナの影響もあつて中々会えないので、アルバムを見て「会いたいなあ」と懐かしんではジーンとしている。

リフレッシュの方法は、推しのアイドルの動画を観ることや歩くこと。そして友達にはあまり共感してもらえないけれど、散歩することが仕事を頑張れることに繋がっている。職場から家までの道のりを、音楽を聴きながら遠回りして歩いて帰るのが好きだ。最近では早朝の散歩もしたいと思つている。

散歩がいつから好きかはわからない。中学生くらいから好きだったのかも。高校生のとき、アルバイト初日に駅から歩いて帰つて、ホームの皆に心配されたこともあつたっけ。

散歩しているときは一人になれる。わたしにはその時間がとても大切な。

今も十分幸せだけど、恋人をつくつて今とは違う幸せも見つけたい。

楽しいことも大変なことも色々あるけれど、今は目の前の仕事を頑張るつもりだ。

はくさん児童家庭支援センター

- 対象：18才までのお子さまと
そのご家族
- スタッフ：社会福祉士・心理士 など
- 利用料金：ご相談は無料です
- 受付日時：平日(月～金)
9：00～17：00
(祝日と年末年始はお休み)
- 主な担当区：多摩区・麻生区

来所相談
※事前に電話でご予約下さい
電話相談
訪問相談

子育てや家庭での悩みを
一緒に考えながら、
専門のスタッフが解決の
お手伝いをいたします。

☎044-712-4073



わたしたちが
児童家庭支援センターのスタッフです

子育てサポート事業

○子育てスペース・ママン

(毎月第1水曜日 10：00～12：00)

小さいお子さまと保護者の方のフリースペースです。

広いスペースで親子でゆっくり過ごしましょう。

育児に関してのちょっとした相談にも応じます。

料金：無料です。

○ミニ・ママン

(毎週木曜日 10：00～13：00)

ママンのスペースの一部をご自由に遊んでいただけるようにしました！

おもちゃも用意してあります。気軽に遊びに来てください。

料金：無料です。

※飲み物(水またはお茶)をお持ちください。

講演会・講座なども行っています。

子育て短期利用事業

ショートステイ(宿泊預かり)
デイスティ(日中預かり)

保護者の方が育児疲れ・病気・事故入院などにより、子育てが一時的に困難になった場合に、一定期間お子さんをお預かりします。

※保護者・お子さんが感染症の場合などご利用いただけない場合があります

対象：川崎市在住の2才～小学生のお子さん

料金：ショートステイ・デイスティのご利用は有料です。

※利用料はお問い合わせください。

利用方法：事前面談・申込みが必要となります。

☆ご希望の際にはお早めに、**まずはお電話でお問い合わせください。**

利用時間帯：9：00～17：00

お休み：夏期(お盆時期)

年末年始(12/29～1/3)

お問合せ：地域コーディネーター 隈元まで

利用料金：無料

区内・当施設近隣で、主としてお子さまたちの育成に関わっている団体などに施設をお貸しいたします。

ご利用にあたっては事前に利用団体登録をしていただきます。

地域交流スペース

白山こども図書館 ほんの森

～赤ちゃんからシニアまで 本を読んだり遊んだり
のんびり楽しめる にぎやか図書館です～

◎毎週火曜日

10：30～14：30

11：00～おはなし会・わらべうた

ほっこりカフェ

本の選り方相談など

◎第2、第4土曜日

13：00～16：00

14：00～おはなし会・わらべうた

ほっこりカフェ

なかよしクラブ(子ども活動)

にこりん

～ハンディを持つことも、
そのママのためのサークルです～

月に1回、一緒に遊んだり、おしゃべりしたり、情報交換したりしています。
月に1回(日)にちは月によって違います)集まっています。

先輩ママが保育ボランティアに入ることあり、くつろげるひとときです。

活動場所や時間は変更することがあるので、事前にお問い合わせください！

※詳細はお問い合わせください
にこりん(nikorin@ju.ciao.jp)

げきだん・ふしぎな卵

～芝居を作ってみませんか～

私たち、普通に働く個性豊かな若者と、働くのに少し疲れたジジ・ババの劇団です。

積古では、やりたいことをやるにはどうしたら良いか、研究しています。
芝居作りだけで生きて来た、米倉日呂登が演出しています。

※詳細はお問い合わせください

米倉 日呂登(マサカネ一座)

☎：044-852-3034

mail：theartpro@gmail.com

HPへアクセス
できます→



親子ヨガ パラマナンド・ヨガ

～健康と幸せを軸に一緒に楽しい
コミュニティを作っていく仲間を
いつでも歓迎しています～

お母様とお子様だけでなく、
お父様の参加も多い親子ヨガですので
ご家族で来てみてください。

◎日曜日 月1回
9：15～10：00

◎対象年齢：年齢問いません。
*お子様幼児～中学生まで。
(2歳まで無料。)

